District2660 Rotary Club of Osaka-Universal City

大阪ユニバーサルシティロータリークラブ

WEEKLY REPORT

# 例会週報　<第1068回 例会（2026年10月26日）>

## • 本日のプログラム

➤ウエルカム例会（RAC合同）
➤時間：18：30 ～ 20：30
➤場所：リーガロイヤルホテル2階**「楓の間」**

## • 次回（11月2日）のプログラム

➤ソング：奉仕の理想
➤卓話：河田　英子　会員
➤場所：リーガロイヤルホテル2階「蔦の間」

➤理事会

## 前回（10月19日）の例会報告

■会長の時間

皆さんこんにちは。

先週がお休みということで二週間ぶりの例会となりましが、この間に大阪西北RCさんと大阪堂島RCさんとの3クラブ合同ゴルフコンペ&懇親会が、宝塚GCで開催されました。8組エントリーされていたのが最終的に7組での開催になったみたいでしたが、心配していた天候もいい感じのゴルフ日和になり、いつも通りに終始非常に賑やかで楽しい開催となり更なる親睦を築くことができたと感じています。
コンペ成績の方も優勝 中根さん、準優勝 森さん、ベストグロス 松浦さん、とワンツーフィニッシュにベスクロ付きとなりました。中根さんの優勝者スピーチでは、この3クラブ合同ゴルフコンペは大阪ユニバーサルシティRCがロータリーXmas in USJ のための貴重な収入源となっているため来年も優勝を目指しますとめっちゃ力強く煽ってはりまして言いたい放題やりたい放題して暴れ回ってきましたという感じです。
また、来年も楽しくやりたい放題しましょう！

そして、昨日はRAC主催のスポGOMIに参加してまいりました。
2660地区から500名のローターアクター、ロータリアンが集まって親睦を深めながら街をきれいにするという、なかなかこういうイベントでもないと自らすることがない有意義な活動ができたなと感じました。
来年は、1,000人規模で開催するんだと吉村ガバナーエレクトの鼻息が荒かったです。来年も10人以上の参加要望が来ると思います。

最後に再来週の11月5日は当クラブの公式ゴルフコンペ会長杯です。
すでに、回覧も回っておりまして出欠の確認をしていく段階となってきました。今回は、7組エントリーしており西北RCさんや堂島RCさんにもゲスト参加していただきます。コンペ賞品もそれなりに色付けしていきたいと思います。

たくさんのご参加よろしゅうおたの申します。

【来客紹介】　0名

【出席報告】

| 2026年10月19日（第1067回例会） | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 会員総数 | 出席免除会員 | 出席会員 | 欠席会員 | 出席率 |
| 40名 | 3名 | 28名 | 12名 | 75.6% |

【幹事報告】

１０月１８日 エンドポリオナウスポゴミ参加協賛御礼
回覧資料　説明
１１月 １２月出欠確認
１１月１６日３クラブ合同ナイト例会案内
メール説明
１０月２６日ウェルカムパーティーお客様誘って頂くお願い

## • ニコニコ箱（10月19日）

馬場　　基　＝SAAに声を掛けられて。
遠藤　政伸　＝昨日スポゴミ参加の皆様おつかれさまでした。
花谷　尚嗣　＝先日藤田まおのコンサートに行って来ました。素晴らしい！
北條　陽子　＝スポゴミおつかれさまでした！
井上　　匡　＝ポリオありがとうございました。。
菊　　康人　＝先日のEND POLIO NOW × スポGOMIお疲れ様でした。素敵な企画有難うございます。
小林　知義　＝昨日はRACの応援でお掃除の奉仕活動お疲れ様でした。今晩は音楽部の練習があります。がんばります。
兒玉　　進　＝遠藤さん卓話がんばって下さい。昨日スポゴミ楽しかったです。
松山　三雄　＝本日シニアクラブがあります。ふるってご参加ください。
三宅　一郎　＝昨日「END POLIO NOW × スポGOMI」に参加しました。500名ほどの参加者で楽しくごみ拾いをしました。大変良い社会貢献とRCの宣伝になったと思います。
中井　周治　＝菊さん遠藤さん、クラブフォーラム頑張って下さい。
大西　信幸　＝スポゴミお疲れ様でした！
大野　裕司　＝昨日のスポゴミに参加できず失礼しました。遠藤さん卓話がんばってください。
Janet　Poon　＝昨日メンバーと一緒にEND POLIO NOW × スポGOMIに参加してすばらしい一日でした。
斎藤　清貴　＝クラブフォーラム　菊さん遠藤さんよろしくお願いします。
髙野　幸雄　＝スポゴミ参加の皆様、お疲れ様でした。
辻田　知史　＝昨日はスポゴミの日でした。当クラブからは10名の参加者ということでたいへんお疲れさまでした。今年は500名が集まり非常ににぎやかでしたが来年は1000名集めるとの吉村ガバナーエレクトのお話でした。皆さん来年も楽しくスポゴミやりましょう。
本日はクラブフォーラム、菊さん遠藤さんよろしくお願いします。

【SAA報告】

| | | |
|---|---|---|
| ニコニコ箱 | 本日計　49,122円 | 今年度合計 637,587円 |

4つのテスト／1.真実かどうか　2.みんなに公平か　3.好意と友情を深めるか　4.みんなのためになるかどうか

- クラブフォーラム「国際奉仕委員会」「ロータリー財団委員会」

■国際奉仕委員会　　菊 康人 委員長

10/3クラブ国際奉仕・社会奉仕合同委員会会議の内容を抜粋ご報告いたします。

●奉仕の出発点（視点）を変える
「今年も何かやらなければ」⇒寄贈・イベント・募金の実施⇒「無事に実施」のWE主体の「やった」だけで満足/完結ではなく、「地域・当事者」主体で ①誰が困っているのか？ ②何を必要としているのか？③なぜ、その課題が解決されていないのか？ ④何ができるのか？ ⑤実施した後に「何が変わる/変わった」のか？という奉仕のその後（活動⇒結果⇒成果・変化）を見ることが「インパクト」につながる

●奉仕予算の大きさ≠奉仕の価値
ロータリーの強みは「金」ではなく「人（プロフェッショナルの集まり）」、専門知識＋経験＋人脈＋信用は、「予算をはるかに超える価値」があり、「お金を出すだけ」でなく、「自分達の力を社会のために使う」という意識が重要

●小さな奉仕にも価値・意味がある
例え10万円の奉仕活動でも、その活動を通じて「こんなニーズが地域にあったのか」と気づき、次の行動につながる。①少ない予算の奉仕活動 ②課題を知る ③専門家が知恵を出す ④人脈・企業・行政・専門機関につながる ⑤新しい解決策が生まれる ⑥社会へのインパクトが広がる（社会を動かす）

●共感される奉仕は、仲間を連れてくる
「良いことをした」だけではなく、「この課題を何とかしたい」「自分もこの活動に関わりたい」と思える奉仕。①奉仕への共感 ②仲間の人柄や資質の再発見（親睦強化）③参加者が増える ④仲間が増える ⑤会員増強につながる

●ロータリーモーメント
①ニーズに気づく（地域に聞く）②一緒に汗をかく（役割分担）③専門性・人脈（知恵の結集）④誰か・地域が変わる（変化）⑤自分の心も動く（気づき、達成感、感動）⑥「この感動を誰かに伝えたい、一緒にこの感動・体験を共有したい」（共感と公共イメージ向上）ここに「ロータリーモーメント」が生まれる
※「ロータリーXmas in USJ」は、「毎年楽しみにしている」「気にかけてくれる優しい大人が（施設内だけでなく）いる」と子供達が（家族のような）愛情を感じられる「子供達」主体の「汗をながす」奉仕であることを改めて実感しました。

●ロータリーのマルコポーロ
1905年設立時のシカゴでの最初の会合4人（ポールP.ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー）がクローズアップされていますが、実はロータリー拡大のため尽力した「ロータリーのマルコポーロ」と言われる人物がいます。ポールハリスの執筆著書「This Rotarian Age」で言及されているデイビッドソン氏は、1928年から2年半にわたり世界中を行脚し、12ヶ国23クラブを設立しました。
※いま世界中にどれくらいの国と地域にロータリアンがいるのか？過去現在にどんな偉人・著名人がいるのか？　ロータリーの友やサイト情報を検索してみると「ロータリーの仲間が国内だけなく世界中にいる」ことを改めて実感できると思います。また、各委員長会議の研修PDF資料は、2660地区ホームページでダウンロード閲覧できますので、新たな気づき、発見、勉強になります。

■ロータリー財団委員会　　遠藤 康人 委員長

**寄付を奉仕の成果へつなぐために**

**■ ロータリー財団の役割**
ロータリー財団は、寄付を地域社会や世界の課題解決に結び付ける仕組みです。補助金事業、ポリオ根絶、奨学金などを通じ、保健・教育・水と衛生をはじめとする分野で持続的な成果を目指しています。

**■ 補助金による奉仕活動**
グローバル補助金は、海外の保健・水衛生事業や奨学金など、国際的な課題への取り組みを支援します。地区補助金は、子ども食堂への支援、被災児童への体験機会の提供、学校への浄水器寄贈など、地域に身近な奉仕活動に活用されています。

**■ 寄付とポリオ根絶**
寄付には、ポリオ・プラス基金、年次基金、恒久基金があり、それぞれ目的が異なります。第2660地区の2025-26年度実績は、ポリオ・プラス基金が約20万3千ドル、年次基金が約61万8千ドル、恒久基金が約21万3千ドルです。寄付の意義を共有し、継続的な支援につなげることが大切です。

**■ 奨学金と適正な資金管理**
グローバル補助金奨学金は、ロータリーの重点分野に貢献する人材の海外大学院留学を支援します。また、補助金は承認された目的・計画・予算に沿って使用し、支出記録や領収書、事業成果を適切に保管・報告する必要があります。透明性のある運用が財団への信頼を高めます。

**財団活動は寄付を集めるだけでなく、適切な管理と成果の報告を通じて社会に還元することが重要です。会員一人ひとりが目的を理解し、地域の課題に合った奉仕活動と継続的な支援に参加していきます。**






インスタグラムはじめました

@UCRC2026

4つのテスト／1.真実かどうか　2.みんなに公平か　3.好意と友情を深めるか　4.みんなのためになるかどうか